



巻頭言

「自分の長所と短所、そして適性」 ～就職活動は、すでに始まっている～

横田 康成

教育推進・学生支援機構 キャリア支援部門長



自分の長所と短所、適性ほど、自分自身で見極めることが難しいものはない。これらは、基本、他人との相対評価なので、多くの様々な人の能力に接してこない限り、自分の長所と短所は見えてこないものである。それに何より、本気でいろいろなことを経験してこない限り、長所や短所が浮かびあがってくることはない。ある時点での自己分析は、数年後、より多くの人と接し、様々な経験を経たのち、自分自身で否定、訂正されることもよくあることである。にも関わらず、採用面接での定番の質問であり、多くの人は、明るいか粘り強いか負けず嫌いとか答える（しかない）のである。

こうした質問の返答に困っている方は、一度、研究室の指導教員に自分の長所と短所を聞いてみてはいかがだろうか。大学院生ならば、指導教員は、2年間ほどは皆さんをよく見てきているはずである。しかも過去に多くの学生たちを指導してきているので、彼らと皆さんの特徴の違いを見抜いていても不思議ではない。自分の長所短所に関して、指導教員の分析とそれに対する自分自身の分析結果など関連付けて、できればその分析を受けて今、どのように長所を伸ばし、短所を克服する努力をしているかを話すことができれば、採用面接試験ではほぼ完ぺきである。もちろん、真面目に研究室に通って本気で研究に打ち込んでいなければ、指導教員と皆さんの顔と名前を覚えるのがやっとで、皆さんの長所短所の正しい分析ができていないこともある。

結局のところ、これまで本気でいろいろな経験をしてこない限り、この質問に答えることはできないのである。採用試験ではそれ以外にもいろいろ質問されるが、皆さんのこれまでの人生そのものを問われていると言ってもよい。企業訪問などを始めるときになって自分自身の経験不足に気が付いても遅いのである。たとえ面接試験をうまく乗り切って採用され就職したとしても、就職先と皆さんの適性がうまく合っていなければ、仕事でうまく成長できないかも知れない。皆さんの時代は70歳が定年かもしれないので、50年間の皆さんの将来がかかっているのである。生まれた時から皆さんの就職活動、キャリア形成が始まっていると考えた方がよい。

「自分の長所と短所、そして適性」は、常に更新されるものであるが、人生の最後に答えを出せばよいのではなく、日々、問い続けていかなければならない。

先輩からの寄稿

働くということ

～社会人になって感じた4つのこと～

飯沼 広樹

平成25年3月教育学部卒業

①「この仕事がしたい」って思う気持ちって大事

社会人になって初めて思ったことは「仕事って大変だ…」ということです。仕事に慣れるまでは、正直とても苦しかったです。その時、私の助けとなったのは「自分がやりたいと願っていた仕事なんだ」という強い思いでした。仕事に対する「思い」や「願い」を探し、見付けることが大切だと改めて思いました。

②自分の成長から「やりがい」って生まれるのか

仕事が「大変」とばかり思っていた私ですが、少しずつその気持ちが薄らいできました。仕事に慣れてきたということも多少ありますが、その多くは「やりがい」を感じ始めたことです。自分の成長によって、目の前の子どもたちの目が輝いたことを実感した時、教師という仕事のやりがいを感じました。それと同時に、仕事の負担感、自分の心持ち次第だと気付きました。日々自分を振り返りながら、周りではなく自分を変える努力をすることが自己の成長につながり、それがまた仕事のやりがいにつながっていくのだと分かりました。

③大学生の時、多くの仲間と関わってきてよかった

今勤務している学校で、私は6人の大学の同期と共に働いてきました。その6人全員が、大学でも関わってきた仲間であり、助け合いながら切磋琢磨しています。同じ学部の同期や先輩、後輩、他の学部の仲間と多く関わり合ってきたよかったなと思っています。

④教師の仕事には感動がある

「どの子どももっとよくなりたい。成長したい。」という思いをもっています。そんな思いをもつ子どもたちと共に生活していると、心が揺れ動くことばかりです。大人になっても、子どもたちと共に私も心が揺れ動き、それを共感できることは本当に貴重であり、私の心を豊かにしてくれます。

教師も大変で責任の重い仕事ですが、学校職員がチームとなって働いており、私も周りの先生方にいつも支えられています。教師を目指しているみなさんと、ぜひ一緒に働くことができればと願っています。



学生支援プロジェクト

楽 tanθ Webで岐大を盛り上げる

加藤 満基

工学部電気電子・情報工学科2年



大学生活、このままでいいのかなあ。

そう思っている人は多いのではないのでしょうか。

このプロジェクトは「岐大の評判を今よりもっとあげたい!」「大学生活を有意義に過ごしやすい環境を作りたい!」…そんな思いから発足しました。

私たちは岐大生向けに有益な情報を発信するサイト、その名も「楽tanθ」を運営する学生団体です。

具体的には今サークル紹介ページの作成や頑張る岐大生のインタビュー記事、さまざまなイベント紹介や先生や研究をより身近に感じられる研究室紹介などさまざまな情報を発信しています。まだまだ知名度は低いですが楽tanθはもっともっと進化していきます!!

大学では高校までと違って勉強はより高度な内容となり、かつわかりやすい教材や教えてくれる人が乏しく勉強はしにくいと感じた人は多いはず!きっとあなたもそう感じたことでしょう。先輩に聞きやすい環境を整えたり、よくある問題や質問に対して解説したものをアップするなどしたりしてそのような現状も少しずつ改善していきたいです。

ところで、あなたは大学や大学生の立場を利用してきているでしょうか。この世は多くを知る者が得をする世界なんです。情報の持つ価値は偉大です。大学では授業を受けていますよね?(受けていない人は受けてください)しかしそれは大学が提供するサービスのほんの一部にすぎません。人も場所も機会も無料で与えられ、行動次第でなんでもできて守ってくれる人もいる、そんなすばしい環境は社会に出てからなかなかありません。ワクワクしてきませんか?もちろん大学外にも数え切れないほどのイベント等が存在しています。

情報量の違いで得られるものは雲泥の差です。私たちやサイトに少しでも興味を持ってくれたならサイトを訪れてみてください。そして一緒にやってくれる仲間も常に募集しています。たくさんの人が関わればより良いサイトとなること間違いなしです。webに興味のある方、大学生になって何かしたいが何をしたらいいかわからない方、あなたの連絡やアイデアをお待ちしています。

第1回輝け！キャリアコン2019★岐大

地域での学び合いの中で育むキャリア形成

白村 直也

教育推進・学生支援機構 キャリア支援部門

2019年9月8日(日)、岐阜大学サテライトキャンパスで「輝け！キャリアコン2019☆岐大」(主催：岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門、後援：岐阜県、岐阜県学生就職連絡協議会、以下「キャリアコン2019」)を開催した。この場をかりて報告したい。

開催に至った経緯

岐阜大学は、生涯にわたって社会で高度な専門職業人として活躍するため、学生に身につけて欲しい力「基盤的能力」(「考える力」「伝える力」「進める力」)を掲げている。そこでキャリア教育の一環として、学生が集い、こうした卒業後の社会で必要とされる力がどれだけ自分に身につけたかを披露し合う場が持てないか、と考えてきた。また、そうした場作りを構想する中で、経済産業省が「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力」として提唱した「社会人基礎力」(2006年：「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」)は、岐阜大学の「基盤的能力」に親和性があることに筆者はかねがね注目してきた。多くの大学でも学生にこの力の習得を促しているようだ。そこで、この力の習得度合いを教育機関の壁を越えて学生が披露し合い、学び合う場作りに取り組むこととした。

「社会人基礎力育成グランプリ」(主催：一般社団法人社会人基礎力協議会、共催：経済産業省)というコンテストがある。毎年12月に地区大会が行われ、地区大会を優勝したチームが翌年2月に開催される全国大会に駒を進める。筆者は2年連続で中部地区大会に学生と共に参加したが、どの大学の取り組みも非常に刺激的で、多くを学ぶ取ることができる機会であった。

ただ、岐阜県の大学の参加が全くないことは非常に残念に思った。岐阜県でも地域の特性に着目した学生の活動は非常に多く、その活動を通じた学生の成長は目覚ましい。「キャリアコン2019」は、この「社会人基礎力育成グランプリ」の手法を引用し、「社会人基礎力」という物差しで岐阜県の学生の活動を客観的に評価しようとするものであり、今年度岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門が初めて企画した。

「キャリアコン2019」開催

開催要項の作成や発表方法は、「社会人基礎力育成グランプリ」を参考にした。ポスターを作成し、2019年5月に県内各所に参加を募り、6校8チームの参加(大学3校4チーム、専門学校3校4チーム)を受け付けた。8月末に発表データ(PPT)の提出を受けると同時に、審査員をキャリア支援部門長(横田康成教授)を筆頭にマイナビ株式会社や一般社団法人岐阜県経営者協会、そしてNPO法人G-NETより計4名に依頼した。

当日は発表者を含め50名超が来場、発表内容は非常に多彩で審査員からの質疑応答にも熱が入った。最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、そして奨励賞の授与を執り行い、会は無事終了。その模様は2019年9月10日付け岐阜新聞に掲載された。

今後に向けた課題

来場者向けにアンケートを実施し、現在はその振り返りを行っているが、振り返ってみると反省すべき点が大きくは2点あるように思う。一つは岐阜県内の企業にもっと声かけして観覧客を募り学生との交流を促すことであり、もう一つは学生交流のための時間をもっと設けるべきであった。次回開催時にはこの経験を活かしていきたい。また「キャリアコン2019」をきっかけに、定期的にも岐阜県という地域が一丸となって学生のキャリア形成に向き合う場を持っていきたいと思う。

第1回 輝け！キャリアコン2019☆岐大

新入生も、在生も、外国人も、障害のある人もみんなで参加しましょう!!

日時 2019年9月8日(日) 13時から(開場・受付開始 12時半から)

場所 岐阜大学サテライトキャンパス
〒500-8644 岐阜市笠原町6丁目31番地
岐阜スカイウェイブ37 実棟4階
JR岐阜駅から徒歩5分、名鉄岐阜駅から徒歩8分
TEL: 058-212-0390 FAX: 058-212-0391

「輝け！キャリアコン2019☆岐大」とは
キャリアコンテストの経験、ボランティアや課外・社会活動をはじめ、学生の多岐的な活動を舞台と資料にその成長を社会に広く発信することでその将来(キャリア)を切り拓く力(社会人基礎力)を養うことを目的とする。岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門が岐阜県と協賛の新たな機軸とする方法として提案。

大会概要
「第1回 輝け！キャリアコン2019☆岐大」では、各チームに「どのような活動に取り組み、どのように成長できたか」についての発表(プレゼンテーション)を行っていただきます。活動のテーマは各チームで自由に決めてよい(専ら地域社会貢献、企業への協賛など)として、岐阜県を活躍の舞台とする企業人や情報会社などからなる審査員会で学生たちの社会人基礎力の成長や知識の深まり等を審査し、それをもとに活動を総合評価します。

参加者募集中!
2019年 6月30日(日) 17時まで

主催：岐阜大学 教育推進・学生支援機構 キャリア支援部門

作成したポスター

就職活動報告

就職活動で必要となる総合力

吉田 和穂 (エネルギー関連通信部門内定)

令和2年3月 大学院自然科学技術研究科修了

就職活動を通して学んだ3つの大切な力についてお伝えしたいと思います。それは、自己分析力、行動力、コミュニケーション能力です。

自己分析能力はESを書くときに度々耳にする言葉だと思います。私の考える自己分析とは、社会人になるにあたってどのような人になりたいか、そのためにどのように働きたいか、自分を見つめることだと思います。どんな社会人になりたいかを考えることで、どうやったら内定がもらえるかという考えから、入社後どう働きたいか考えることができるようになると思います。

行動力は言葉通り行動する力です。就職活動を始めたころは何をしたらいいかわからず、不安を感じる方も多くかと思えます。そんな方へお伝えしたいことは、SPI、業界研究、企業研究など今後必ず必要となる知識を蓄えておくことです。就職活動が本格的になる3月頃には目の前のことで忙しくなると思うので、時間がある時に少しでも勉強をしておくことに余裕ができて良いかと思えます。インターンシップや説明会にも積極的に参加してほしいと思います。

就職活動は多くの企業について学べる貴重な機会ですので、是非この機会を活用して頂きたいと思えます。

コミュニケーション能力はより多くの人と話をすることが重要だと思います。社員の方への質問だけでなく、家族、友人、先輩など自分をよく知る人と話をすることも大切だと思います。是非就職活動という機会を利用して、これまで疎遠になっていた友人に連絡を取ってみることも、家族とゆっくり話し合うことをしてください。多くの人と話すことで仕事に対するイメージや考え方を見つけ出せると良い就職活動になるのではないかと思います。

最後に、就職活動を通してお世話になった方への感謝は忘れずにいてほしいと思います。社員の方は時間を割いて学生が社会を学ぶ機会を設けてくださることや、自分のために親身になって相談に乗ってくれる人たちの思いを大切にしてください。



自分らしく熱意を持って

若尾 真由 (航空関連会社内定)

令和2年3月 地域科学部卒業

就職活動の時期になり、不安を抱えている方も多く思えます。あくまでも一個人の考えではありますが、私が就職活動で学んだことが少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

去年の3月、私も皆さんと同じく様々な疑問や不安を抱えて就職活動を始めました。右も左もわからぬまま始まった就職活動でしたが、様々な選考を受ける中で、特に大切なことは「熱意」と「自分らしさ」だと実感しました。

まず「熱意」についてです。ただ「働きたい」と言っても働かせてはもらえません。「なぜ働きたいのか」を明確な根拠とともに伝えることが大切だと感じました。同じ業界のなかでも企業によってそれぞれの強みや目標があります。

そこで私は、自分の軸や強みなどと重ね合わせながら、「その企業でないといけない理由」を伝えられるように心がけました。そしてそのために、自社説明会へ足を運んで実際に社員の方からお話を伺ったり、書籍があればそれを読んだりして企業や業界についての理解を深めました。新聞やインターネットで関連の記事を探すのもおすすめです。時間はかかりましたが、私はそれらが面接の自信に繋がりました。採用担当の方々には、学生がどのくらい熱意を持って選考に臨んでいるのかお見通しだと思います。しっかりと準備して選考に臨めば、その分熱意も絶対に伝わるので頑張ってください。

「自分らしさ」については当たり前のことではありますが、自分の言葉で伝えることが大切だと感じました。面接では、面接官の方々から様々な質問をされます。しかし、面接も人対人のコミュニケーションなので、きれいな模範解答を「話す」のではなく、自分の言葉で「伝える」ことが大切だと思います。

最後に、就職活動中は精神的にも体力的にも辛くなることもあると思いますが、そんな時は息抜きをすることも忘れないでください。皆さんの就職活動が納得のいくものになるよう応援しています。



キャリア支援部門ニュース編集委員

委員・白村 直也
(キャリア支援部門・特任助教)●岐阜大学教育推進・学生支援機構キャリア支援部門●
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1委員長・横田 康成
(キャリア支援部門長・(工)教授)委員・正村 隆弘
(学生支援課課長補佐・就職支援室長)キャリア形成支援
TEL 058-293-3393
career@gifu-u.ac.jp就職支援
TEL 058-293-2147・3362
job@gifu-u.ac.jpイノベーション創出若手人材養成
TEL 058-293-3492
career@gifu-u.ac.jp委員・吉田 敏
(キャリア支援部門副部門長・特任教授)委員・五味 進司
(キャリア支援部門事務担当)